

腹腔鏡下副腎摘除術(ロボット支援下含む)を受けられる()様へ 入院中のスケジュールです

説明日(/) 説明者氏名()

STA1400060

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	/	/ ~ /	
経過(病日)	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5～6日目	手術後7日目	手術後8日目	手術後9～10日目
達成目標	◇手術に対し理解できる ◇不安を表出できる ◇手術に向けて心身の準備・物品準備ができる	◇手術を安全・安楽に受けることができる	◇体温、血圧に問題がない ◇管からの尿の流出に問題がない ◇感染、縫合不全がみられない ◇疼痛が緩和され、苦痛がない ◇ドレーンからの排液に問題がない ◇静脈血栓症の症状がない ◇腸閉塞の症状がない								
処置 注射・内服	手術までに手術部位のマーキングをします 入浴前に手術部位の除毛と、おへそをきれいにします 寝る前に下剤を飲みます	朝、浣腸をします 麻酔科の指示で起床時に薬を内服する場合があります 2番目以降の手術の方は朝から点滴があります 手術の寝巻に着替えます 弾力ストッキングをはきます(血栓予防のため)	手術後は、集中治療室で状態観察を行います 酸素マスクをしています 状態に応じて酸素マスクを除去します 輸血を行う場合もあります 医師が創部の観察をします 血栓予防のため足にフットポンプを装着します(翌朝まで)	点滴後、問題がなければ針を抜きます (お熱が出たり食事がはいらない場合は点滴が継続されることがあります)							
検査	採血の検査があります			レントゲンと採血があります		採血があります					
活動・安静	安静制限はありません(病院内自由です) 名前の確認のため、ネームバンドをつけます	制限ありませんがなるべく部屋に居てください	翌朝までベッド上安静です 寝返りはできます	看護師と一緒に立つ練習をし、初回歩行時看護師がつきそいます							
安全	患者本人確認のためネームバンドをします ナースコール、ベッド柵を設置します 転倒予防のため、運動靴の使用をお願いします		転倒・転落予防のためベッド柵をします ナースコールを設置します	点滴や管がはいっていますので、転倒しないように注意しましょう							
食事	食事は夕食まで取ることができます 水分については医師の指示に従ってください それ以降は絶飲食です	朝も食事や水分は取れません		朝より水分、 昼食より流動食開始となります 元の食事に戻るまで病院食以外のものは食べないでください	徐々に食事形態を上げていき、昼から術前食(普通食)となります	水分を多めに摂取してください(1日2000ml程度)					
清潔	除毛後に入浴してください	洗面をして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい		朝、看護師が身体を拭きに來ます		先生の許可が出たら、シャワーにかかれます					
排泄		手術前にトイレを済ませておいて下さい	尿の管が挿入されます 便はベッドの上で排泄します	便)トイレに行けます	尿の管が抜けます(状況によって、抜ける日が変わることがあります)						
説明・指導	病棟の案内、手術前オリエンテーションを行います 呼吸訓練・褥瘡予防の説明・指導を行います 手術後の痛みのコントロールについて説明します 薬剤師が内服薬の確認を行います ＜必要物品＞ 腹帯2枚 ストロー付きコップ 歯磨きセット ティッシュ1箱 *夕方、麻酔科の医師が診察に來ます *手術室の看護師が訪問に來ます	入れ歯や時計などの金属類は外してください 手術室は総合診療棟4階です ※家族の方は病棟でお待ち下さい 手術が終了次第、連絡があります ※病棟を離れられる際は、看護師にお知らせ下さい	手術が終わったら、7階のSICU(集中治療室)へ移動します 手術後、医師より説明があります	手術翌日は、10時頃お部屋に戻ります(術後の状況で変更になる場合もあります) ※痛みが強い時は痛み止めを使います 改善がない場合は遠慮なく言って下さい ※呼吸訓練をして下さい 痰をしっかり出して肺を広げ、肺炎を予防しましょう	※留意点 尿の管を抜いた後は、一時的に頻尿になったり、しみたりすることがあります 尿の出が悪かったり、血尿がでたらお知らせください					退院前に薬剤師が服薬指導を行います	退院後の生活の注意点について看護師が説明します

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 泌尿器科 西棟7階病棟
2023年8月改訂